

会長挨拶

2019～2020年度 会長 木村 隆一

まず初めに、我孫子ロータリーの歴史を築かれたチャータメンバー、歴代会長をはじめ諸先輩の方々に対し、心より感謝するとともに、我孫子クラブの伝統と誇りを受け継ぎ、微力ながら次世代の会員に魅力あるクラブになるよう引き継いでまいりますので、みなさまのご支援ご協力をお願いいたします。

ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやってきたポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。ロータリーにおける「つながり」は独自でありほかに類を見ません。

2019-20年度国際ロータリー マーク・ダニエル・マローニ会長の年度テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」の下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人々が手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いていきましょう。

私たち我孫子クラブでは、「クラブを元気にする!」をモットーに、社会奉仕活動・親睦活動を今までのように継続し、ロータリーの礎である「つながり」を深めていきます。

活動計画

- ・中期戦略計画委員会の設置(会長・幹事、エレクト会長・幹事、ノミニー会長・幹事)
クラブを活性化させるため
単年度活動から中期的(3年)継続活動へ
- ・各委員会と定期的な打合せを行い、各活動を活発にする
親睦活動による、家族を含めた会員間のコミュニケーション
会員増強(我孫子クラブ40人に向けての布石)
社会奉仕活動の実施
ロータリー活動(ロータリー財団・米山奨学金)や理念の周知理解